

中国・北京大学
留学報告書

学部学科・研究科専攻	情報通信学部情報通信学科		留学時学年	二年次
留 学 先	国	中華人民共和国	大学/機関	北京大学
期 間	2026 年 8 月 2 日 ~ 2026 年 8 月 29 日			
	短期 ・ 中期 ・ 長期 ※○で囲んでください。		計 1 ヶ月	

[1] 参加したコースの時間数と時間割

- 授業時間数： 4 時間
- 科目名（受講した科目を全てご記載ください）：

【時間割】

時 間	月	火	水	木	金	土	日
8 時～12 時	○	○	○	○	○	Free	Free
14 時～15 時半	Free	Free	Free	○	Free	Free	Free

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

【例】クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等

私は初級クラスを選びました。初級クラスの人数は 25 人でした。国籍はヨーロッパ圏と東南アジアの人が多い印象で、自分のクラスには日本人も比較的多くいました。

担当の先生は、「口語」と「漢語」の授業でそれぞれ一人ずついました。先生方はとても優しく、質問をした際には、相手が理解できるまで丁寧に説明してくれました。

授業は主に教科書を使って進めていました。また、ペアワークなどもあり、実際に中国語を使って会話する機会もありました。使用教材は、北京大学で使用されている中国語の教科書でした。

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

授業が終わった後は、北京大学付近にある円明園や、天壇などの有名な観光地を訪れていました。また、週末には大学が用意したプログラムがあり、故宮や万里の長城などを訪れました。

3 週目の週末には、友達と一緒に西安市へ行き、兵馬俑などの観光地を見ました。北京以外の場所にも行くことで、中国のさまざまな地域の文化や雰囲気を知ることができました。

[4] よく利用した施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

寮にあるジムや公園を利用し、他の留学生と一緒にスポーツをしていました。また、中国の公園には卓球台が設置されているところがあり、そこを利用して現地の人と卓球をすることで、交流することもありました。

寮のジムは利用するためにお金がかかりましたが、室内で運動することができ、施設自体もとてもきれいだったので、満足して利用していました。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋 1 人で使用

様子：部屋は一人で生活するには十分な広さがあり、トイレやシャワーも個別についていたため、とても快適でした。しかし、寮の部屋にはトイレトーパーやタオルなどの生活用品が揃っていなかったため、最初の週は必要なものをよく買いに行っていました。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと：

留学中に特に楽しかったことは、さまざまな国の人と中国語で話せたことです。自分は英語が苦手なで、これまで海外の人と話す機会もあまりありませんでした。しかし、留学先では中国語を共通の言語として、さまざまな国の人と話すことができました。会話を通して、相手の出身地や文化、普段の生活などを知ることができたことがとても楽しく、今まであまり経験したことのない交流ができました。また、留学期間が一ヶ月間あったため、中国のさまざまな場所を訪れることができたことも楽しかったです。旅行では短い期間で限られた場所しか訪れることができませんが、今回は時間に余裕があったため、北京だけでなく西安などにも足を運び、中国の観光地や文化を実際に見ることができました。さらに、現地の寮で一ヶ月間生活したことで、旅行では経験できない中国での日常生活を体験できたことも、今回の留学ならではの楽しい経験だったと思います。

● 苦労したこと：

苦労したことは、中国語で話さなければならないことです。中国語を使って話すこと自体は楽しかったのですが、長時間ずっと中国語で会話をするのはとても疲れました。また、一つ知らない単語があると、その後の話についていけなくなることもありました。そのため、分からなかった単語はノートにまとめ、後から調べるようにしていました。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

自分は中国語の基礎を学んだ程度で留学に行ったため、最初は相手が話していることを聞き取れなかったり、簡単な会話をするのも難しかったりしました。しかし、留学の最終日近くになると、急に中国語で話しかけられても対応できるようになり、自分でも成長したと感じました。また、分からない単語を調べたり、実際に中国語を使って会話したりすることで、授業だけでは身につけにくい実践的な中国語を学ぶことができました。

2) 専門知識の向上：

専門分野である情報通信について直接学ぶ機会は多くありませんでしたが、中国で実際に生活することで、中国の IT や通信技術が身近なところで使われていることを知ることができました。特に、スマートフォンを使った決済や配車サービスなど、日本とは異なる IT サービスを実際に利用したことで、中国の IT 技術やデジタル化について興味を持つきっかけになりました。

3) 自己成長など：

今回の留学を通して、自分から行動することの大切さを学びました。留学前は海外の人と話すことに苦手意識がありましたが、実際に中国で生活してみると、自分から話しかけたり、分からないことを質問したりする必要がありました。その経験を通して、以前よりも積極的に行動できるようになったと感じています。

また、慣れない環境で一ヶ月間生活したことで、自分で考えて行動する力も身についたと思います。中国語が分からない場面でも、翻訳アプリなどを使いながら問題を解決する経験を何度もしたため、分からないことがあってもすぐに諦めず、自分で解決する意識が強くなりました。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

留学をする場合には、宿泊施設に何があるのかを事前にしっかり調べておく必要があると感じました。私も、タオルやドライヤーがないことは知っていましたが、トイレトペーパーがないことには驚きました。書類に書いてあるもの以外はないので、自分の生活に必要なものをリストアップして準備することが大切だと感じました。

また、Alipay や WeChat などの中国の決済・連絡アプリは、日本にいううちにダウンロードすることをお勧めします。実際に中国で生活すると、買い物や食事などで Alipay を使う機会が多く、連絡を取る際にも WeChat を使うことが多かったので、事前に準備しておく心安いと思います。

大学側が用意した行事には、積極的に参加した方がよいと思います。故宮では、説明をしながら回ってくれるので、どのような背景があるのか、どこを見れば良いのかが分かり、とても面白かったです。自分たちだけで観光するのとは違い、説明を聞きながら観光できるので、その場所についてより詳しく知ることができました。

留学はとても楽しいのでぜひ挑戦してみてください！！

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

	内訳	金額 (留学時の日本円)
1	プログラム代	340,320
2	フライト代、燃料サーチャージ、空港使用料等	189,680
3	旅行会社に支払った費用総額(1,2 の総額)	530,000
4	滞在費 (寮費・ホームステイ代など)	153,682
5	保険代	9,070
6	教材費	0
7	私生活における諸経費 (食費・交通費・洗濯費等) 個人的な買い物	145,642
8	留学に関する費用	838,574





